

質疑応答

説明会概要

2023年5月10日(水) 16:00 - 17:00 (Zoom ウェビナー)

機関投資家・アナリスト向け

質問1. 業績下方修正について、何が想定より厳しかったのか

回答 全ての地域で厳しかったが、特に、韓国において想定より調整の影響が大きかった。その理由は、顧客側での製品の在庫調整があったこと。そして、現地に当社生産工場がないことである程度当社製品の在庫を持つ傾向にある。韓国は地域セグメントでは日本に含まれる。

質問2. 韓国はどういったものが悪いのか

回答 特にメモリーを搭載するパッケージ基板。

質問3. CZの中で「その他CZ」の落ち込みが大きい理由は

回答 CZの前・後処理剤が含まれる。必ず使用するというのではなく、使用している顧客の需要が落ちた。

質問4. 1Qの月次のトレンドは

回答 後になるほどよくなっていた。完全にフラットということではなく、少しずつ上がってはきている。

質問5. 2Qに緩やかな回復を見込んでいる理由は

回答 在庫調整が一段落したととらえている。

質問6. 需要の弱さは底を打ったという認識か

回答 力強さはないが、総じて見れば、全体として下がる感じではなく、少しずつ上がってくるような感じ。今のところ、もう一段下げるといったことはないという認識。

質問7. 業績修正について、売上高の修正額に対し利益の修正額が大きい。売上減少による限界利益の減少以上の悪化要因が織り込まれているのか

回答 当社は売上高が落ちると、固定費の影響で利益も落ちる。特別に固定費で多く入れているものはない。2月14日公表の業績予想から大きくは変動していない。薬品の出荷数量が戻れば、利益も上がってくる。

質問8. 業績修正後の原価、粗利、販管費の計画について

回答 上期は売上予想60億円に対し、粗利益は約33億円、販管費は約28.5億円。通期は売上予想135億円に対し、粗利益は77億円強、販管費は59億円強と想定している。

質問9. 今後2-3年の見通しについて、業績を牽引するものは

回答 パッケージ基板。特に、サーバー向けのEMIBやEFBといった先端タイプに期待している。

質問10. 新拠点となる北九州工場では生産技術を刷新ということだが、何が変わっていくのか

回答 極力自動化し人力をほとんど介在させないようにしたい。人力を介在させないことにより生産量のフレキシビリティを持たせたい。

質問11. 北九州工場建設への意気込みをお聞かせ願いたい

回答 今後の半導体需要の増加を見越し、当社の製品供給の責任を果たすため、将来の展開につなげる投資である。生産技術を刷新し、将来の収益力向上や安全・衛生・環境に対応する力を考えて投資を進める。

以上